

年 頭 挨拶

一般社団法人宮城県安全運転管理者協会

菊 地 一 男



新年明けましておめでとうございます。皆様には心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

各地区会や会員事業所の皆様方には、新型コロナウイルス感染症対策のために活動が困難な状況下におかれまして、当協会の運営に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げますとともに、各職域や地域において安全運転管理を通じた交通事故防止のためにご尽力いただいておりますことに改めて敬意を表します。

さて、去年の交通事故情勢ですが、11月末現在、全国的に交通事故発生件数及び死傷者数が減少しており、宮城県においても事故の発生数や負傷者が減少しております。

また、安全運転管理者選任事業所にかかる交通事故につきましては、業務中、通勤中ともに事故発生件数が減少しており、特に死亡事故につきましては、統計が残る昭和50年以降最小の3名となっております。これは、各事業所における安全管理者等による熱心な指導の成果であると考えております。

ただし、今年は、全体の事故件数が減少しているにも関わらず、一歩間違えば死亡事故に結びつきかねない重傷事故が十数件増加しているのが特徴であり、今後の課題として残っております。

また、一昨年、日本自動車連盟の調査により、宮城県が「信号機のない横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合に、全国で最も一時停止しない」ことが判明しました。その後、宮城県や宮城県警察などとともに各地区会や各事業所等において、横断歩道は歩行者優先であることの啓発活動を強力に推進していただいたことから、去年は、全国で4番目に一時停止する状況になりました。皆様の活動に対しまして改めて敬意を表します。

県協会といたしましては、本年も、各地区会及び会員事業所と一体となって、宮城県を始めとする関係機関と連携し、交通事故の無い宮城を目指して、各種事業を推進してま

いりたいと考えております。会員の皆様方におかれましては、事業活動を推進する上で、安全運転管理を通じた交通事故防止の重要性を再度認識して頂き、職場等における交通事故防止にご尽力していただくとともに、新規会員の加入促進による組織基盤の強化等当協会の運営と活動に対しまして、一層のご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、会員事業所の益々のご発展と皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。